

安城市男女共同参画に関する アンケート調査 【調査結果報告書】

— 経年比較及び国比較 —

平成 28 年 11 月

安城市

問 8 次にあげる考え方について、あなたはどのように思いますか。(単数回答)

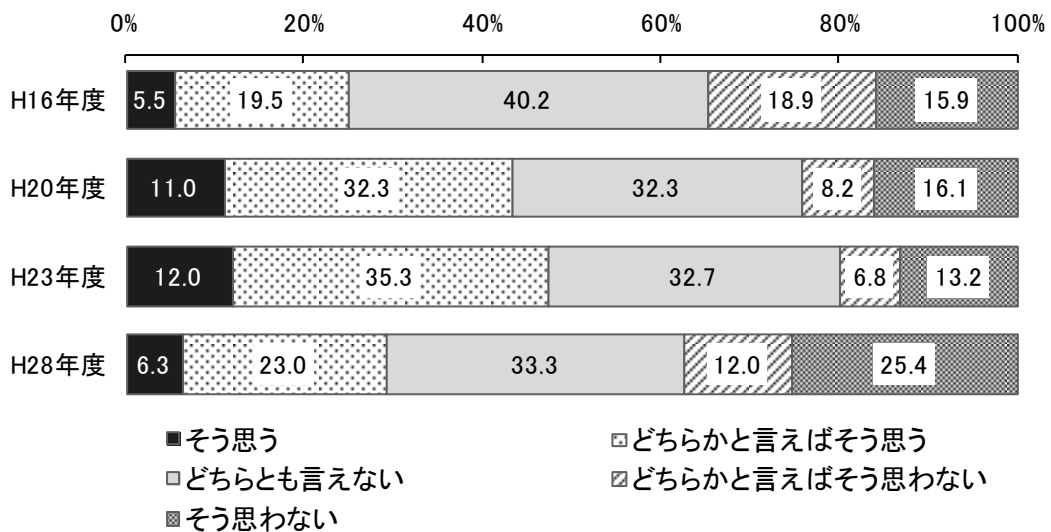
問 8 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『賛成』…「そう思う」と「どちらかと言えばそう思う」の合算

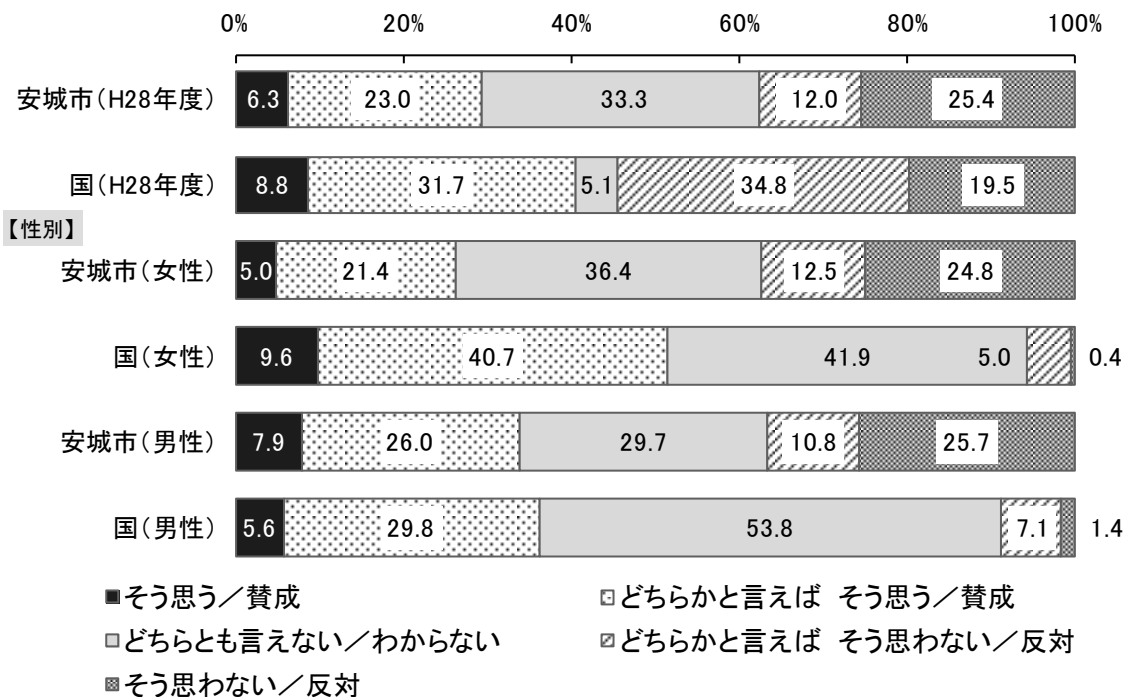
『反対』…「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合算

【A 男性は外で働き、女性は家庭を守る方がよい】

『賛成』が H20 年度及び H23 年度に 4 割を超えていたものの、H28 年度には 29.3%と、H23 年度と比べて 18.0 ポイント低くなっています。一方、『反対』は H23 年度に 20.0%と過去 3 回の調査で最も低かったものの、H28 年度には 37.4%と 17.4 ポイント高くなっています。



国との比較 ※選択肢が異なるため、参考値

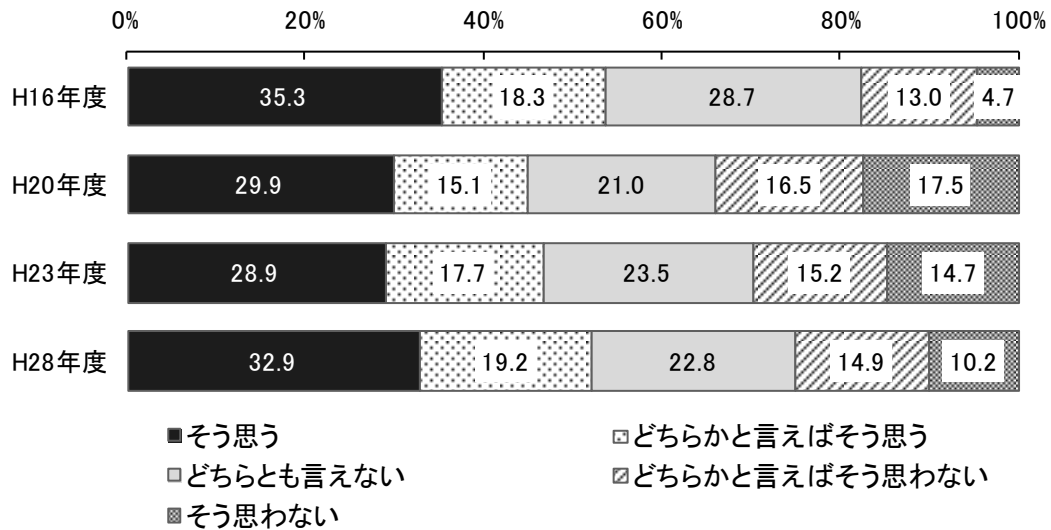


※選択肢の表現について、安城市は『そう思う/そう思わない』、国は『賛成/反対』となっています。

国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

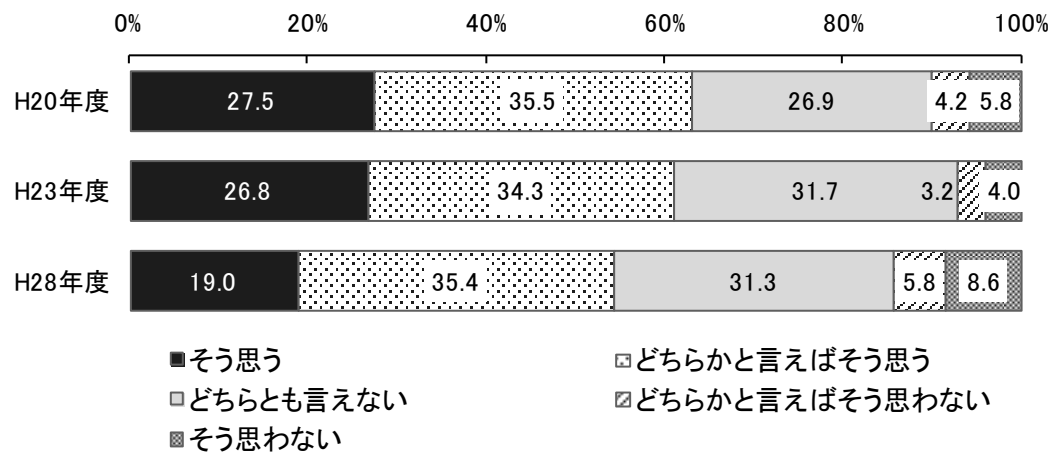
【B 結婚は個人の自由だから、結婚してもしなくてもよい】

『賛成』が H16 年度の 53.6%から H20 年度の 45.0%に低くなったものの、以降増加傾向にあり、H28 年度には 52.1%と、H16 年度とほぼ同様な割合となっています。一方、『反対』は、H20 年度の 34.0%から減少傾向となっています。



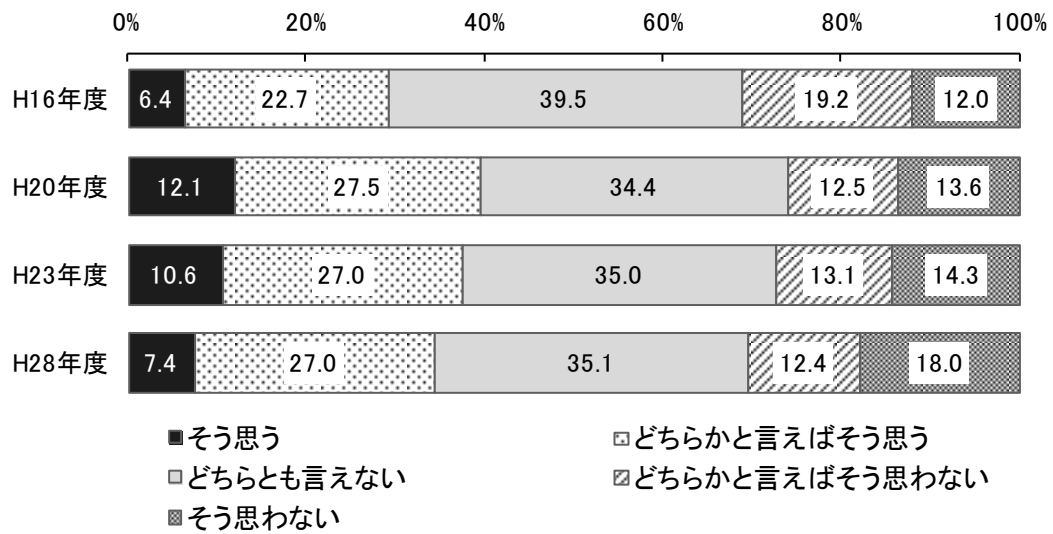
【C 夫は、妻や子どもを引っ張っていく方がよい】

『賛成』は H20 年度以降減少傾向にあり、H28 年度には 54.4%となっています。



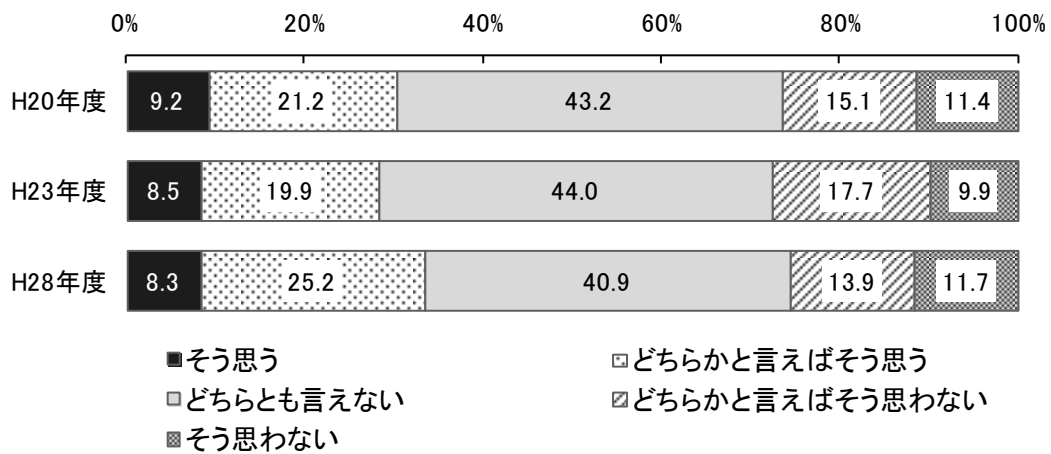
【D 女性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、夫や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい】

『賛成』はH20年度以降減少傾向にあり、H28年度には34.4%となっています。一方、『反対』はH20年度以降増加傾向にあり、H28年度には30.4%となっています。



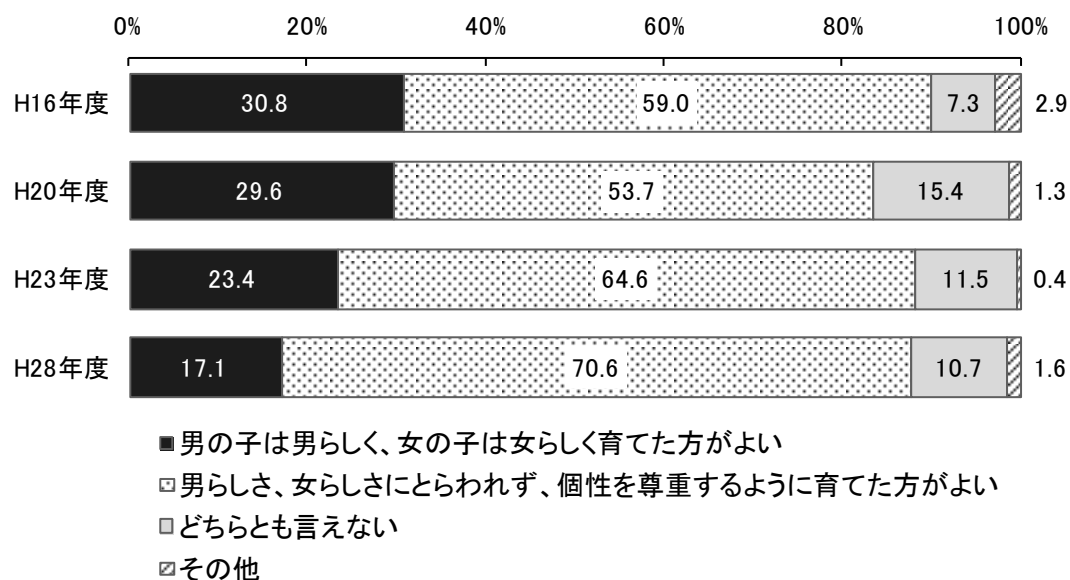
【E 男性は結婚したら、仕事や自分自身のことより、妻や子どもなど家族中心に考えて生活した方がよい】

『賛成』はH20年度以降3割前後で、『反対』は3割弱でそれぞれ推移しています。



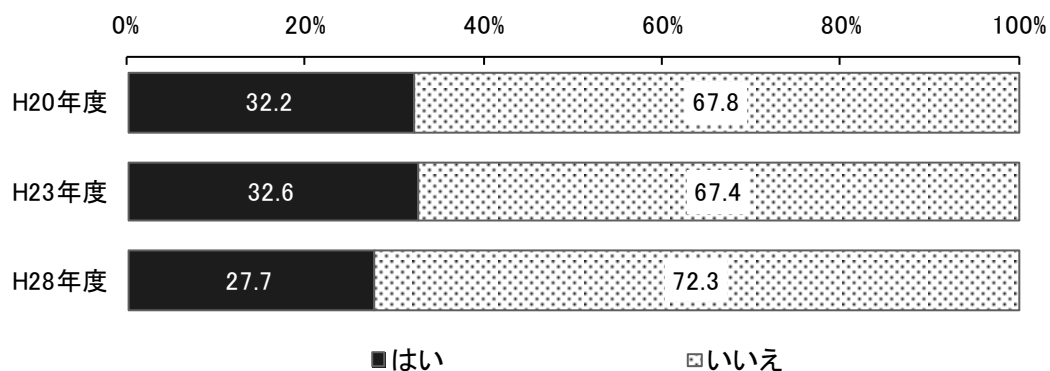
問9 「男の子は男らしく、女の子は女らしく」という子どもの育て方について、どのように考えますか。（単数回答）

H16 年度以降「男の子は男らしく、女の子は女らしく育てた方がよい」という考えは減少しており、H28 年度には 17.1%となっています。また、「男らしさ、女らしさにとらわれず、個性を尊重するように育てた方がよい」という考えは H20 年以降増加しており、H28 年度には 70.6%となっています。



問 12 あなたは、働きたいけれど、仕事をやめざるを得なかったことはありますか。(単数回答)

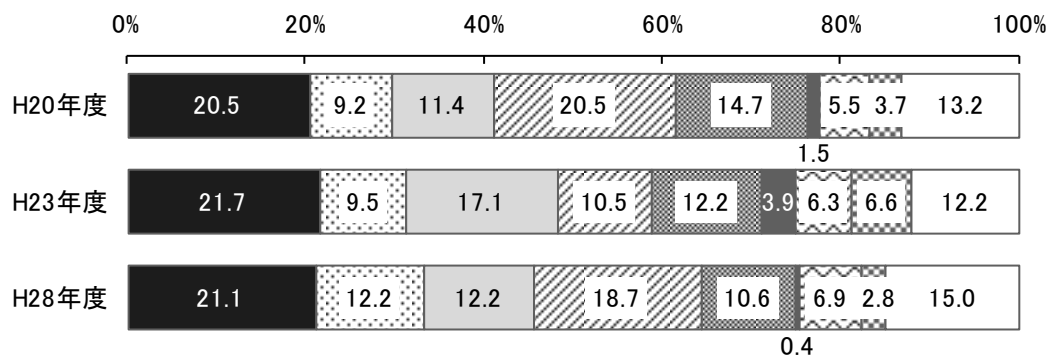
「はい」と回答した人は H28 年度に 27.7%であり、H23 年度と比べて減少しています。



【問 12 で「はい」と回答した方のみ】

問 12-1 仕事をやめざるを得なかった理由の一番は何ですか。(単数回答)

「家事や育児をする人がいなかった」が H28 年度に 18.7%と、H23 年度と比べて 8.2 ポイント高くなっています。

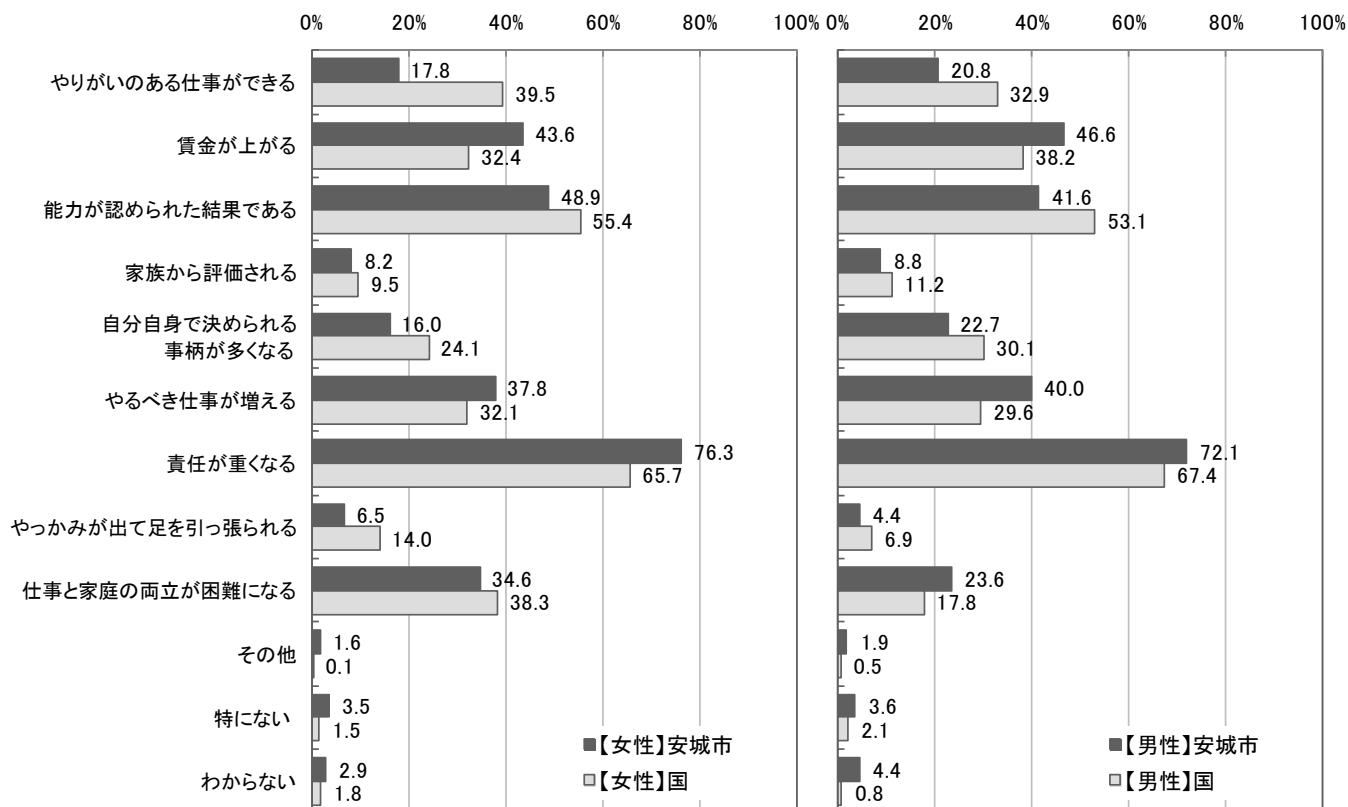


- 自分の健康や体力的な問題
- 家族の介護や看護をするため
- 定年・リストラ
- 家事や育児をする人がいなかった
- 結婚、出産、育児を機に家庭に入るのが当然
- 育児で預けられる施設(保育所や託児所)やサービスが不十分だった
- 結婚や育児に対する職場の制度や理解が不足していた
- 働き続けることに対する、配偶者・パートナーや家族の理解が得られなかった
- その他

問 20 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。
(複数回答)

国との比較

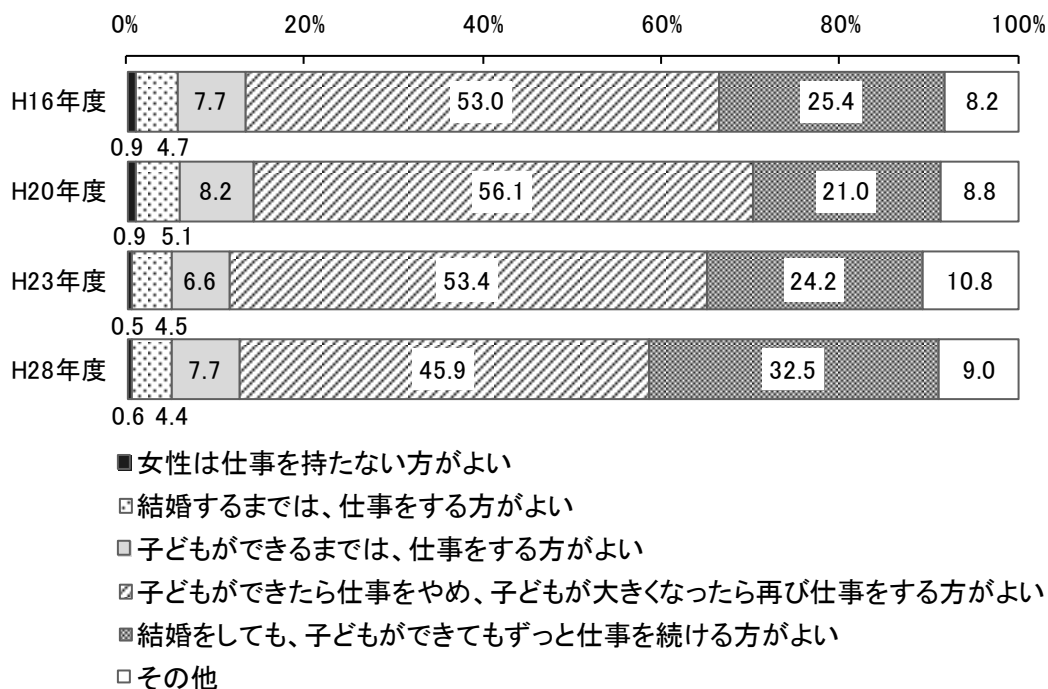
国との比較で差が最も大きい項目は、男女ともに「やりがいのある仕事ができる」であり、女性が 21.7 ポイント、男性が 12.1 ポイント、それぞれ国より低くなっています。国よりも大きく上回っている項目は、女性で「賃金が上がる」「責任が重くなる」、男性で「やるべき仕事が増える」と、それぞれ 10 ポイント以上高くなっています。



国の資料：女性の活躍推進に関する世論調査報告書（平成 26 年 8 月調査）

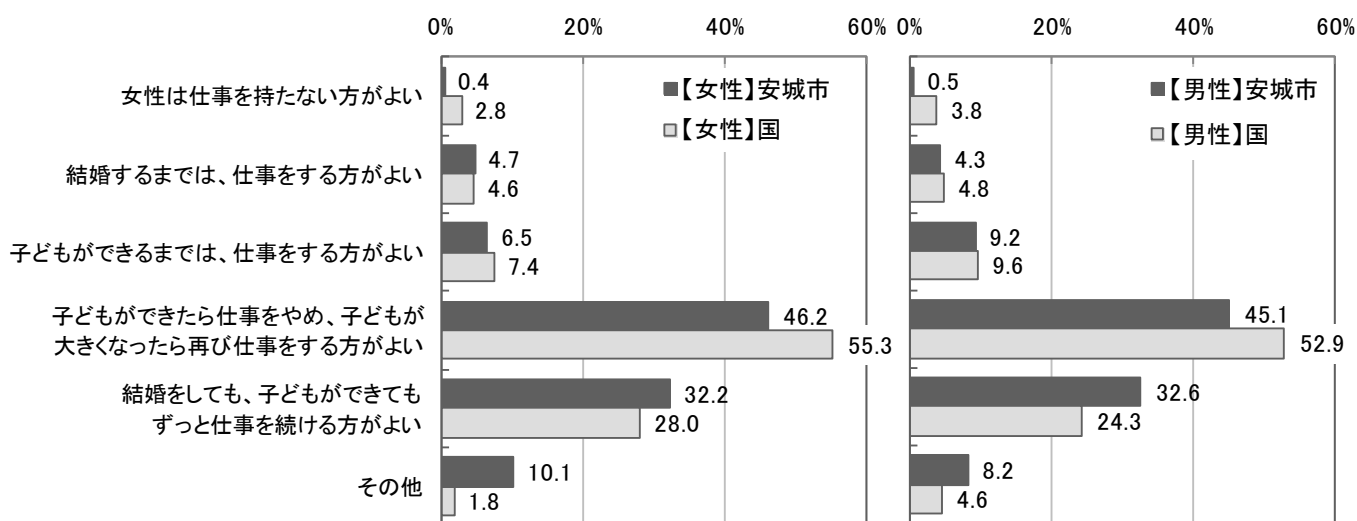
問 21 あなたは女性の仕事について、どのような形が望ましいと思いますか。(単数回答)

H20 年度以降、「子どもができたら仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をする方がよい」が減少し、「結婚をしても、子どもができてずっと仕事を続ける方がよい」が増加しています。



国との比較

「結婚をしても、子どもができてずっと仕事を続ける方がよい」について、男女ともに安城市は国を上回っており、女性で4.2ポイント、男性で8.3ポイントと、男性でより差が大きくなっています。



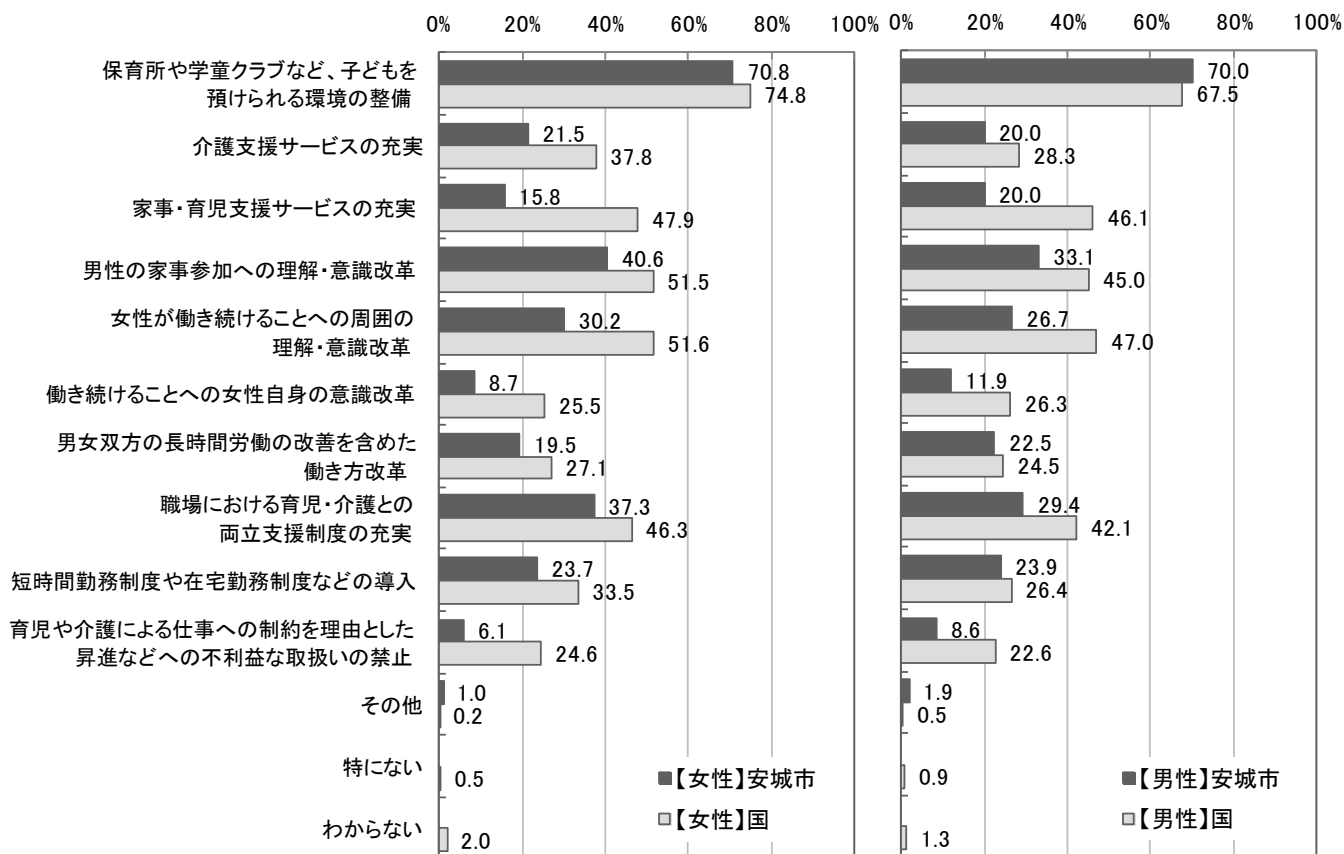
※国の選択肢「わからない」は「その他」に合算しました。

国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

問 23 女性が働き続けるために必要なことは何だと思いますか。（複数回答）

国との比較

「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」について、男性で安城市は国を 2.5 ポイント上回っているものの、その他の項目及び女性の「その他」を除いた 10 項目についてはいずれも国を下回っています。



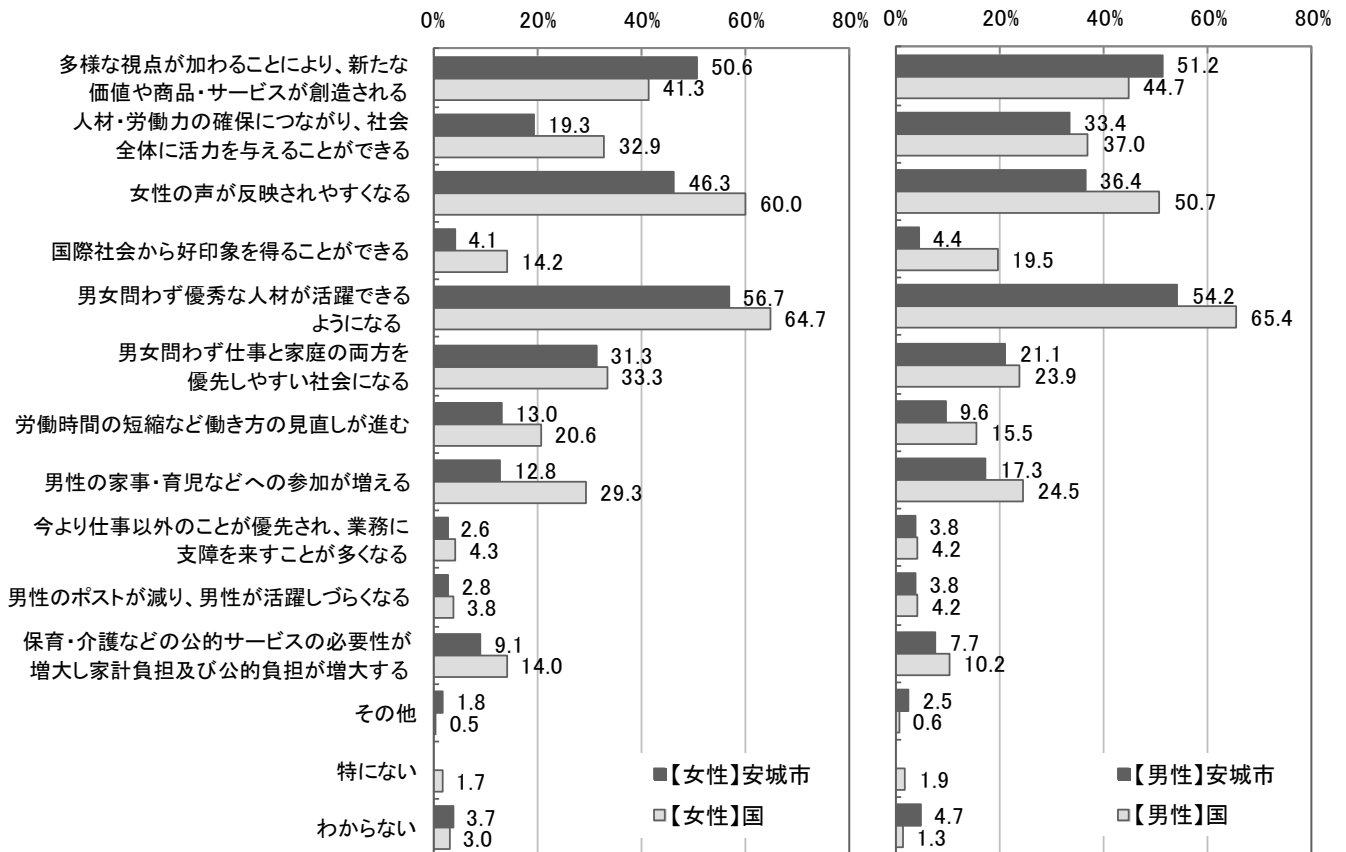
※「特にない」及び「わからない」は、国のみの選択肢です。

国の資料：女性の活躍推進に関する世論調査報告書（平成 26 年 8 月調査）

問 24 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えると思われるような影響があると思いますか。（複数回答）

国との比較

「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」について、男女ともに安城市は国を上回っており、女性で9.3ポイント、男性で6.5ポイントとなっています。なお、男女ともに「その他」を除いた10項目についてはいずれも国を下回っています。

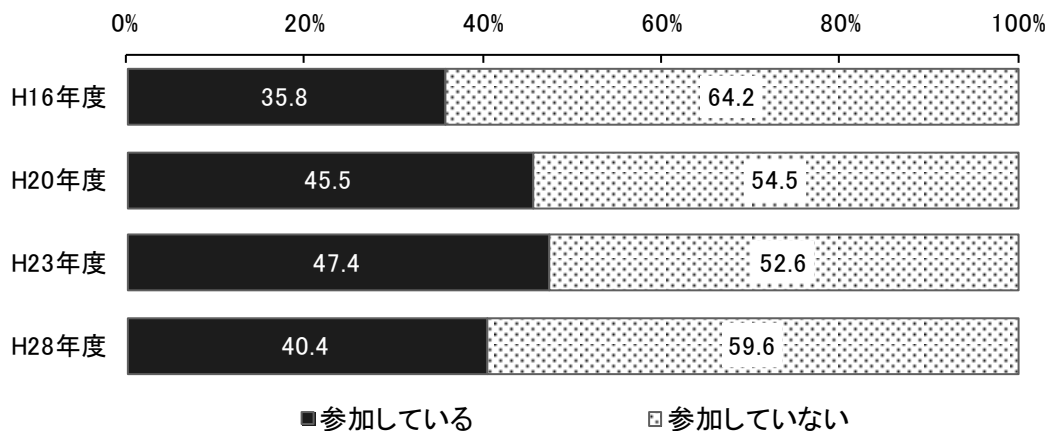


※「特になし」は、国のみの選択肢です。

国の資料：女性の活躍推進に関する世論調査報告書（平成26年8月調査）

問 25 あなたは、現在、地域の活動に参加していますか。(単数回答)

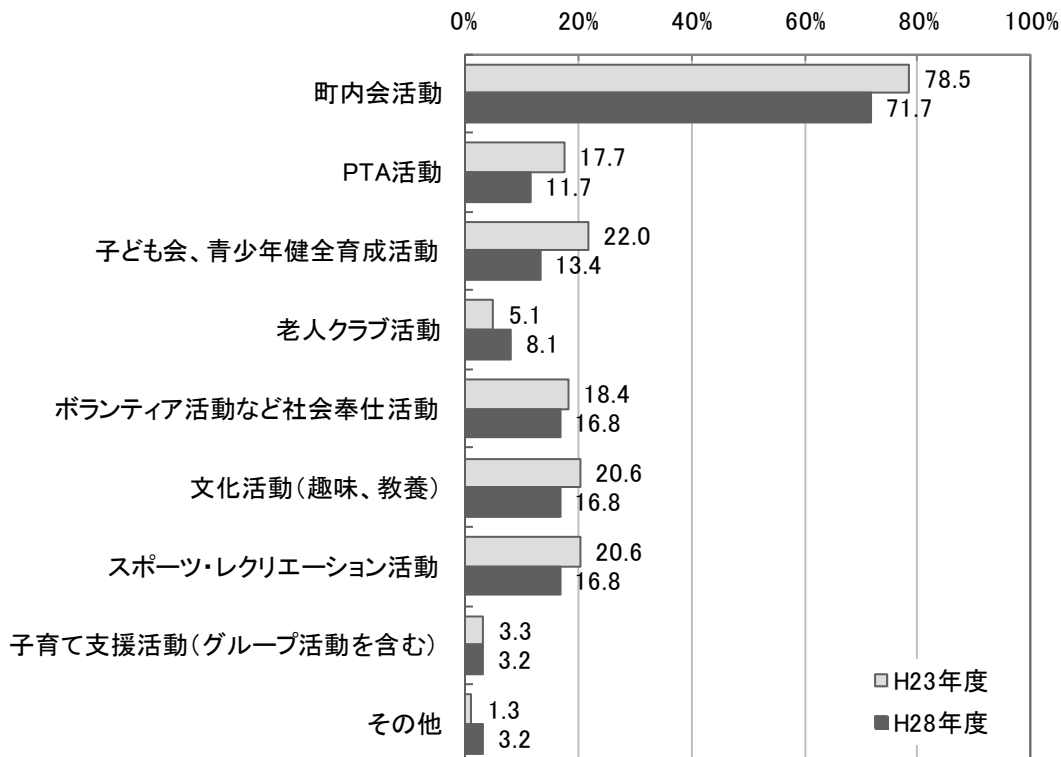
「参加している」はH28年度に40.4%であり、H23年度と比べて7.0ポイント低くなっています。



問 26 あなたは、どのような地域の活動に参加していますか。(複数回答)

【A 参加している活動】

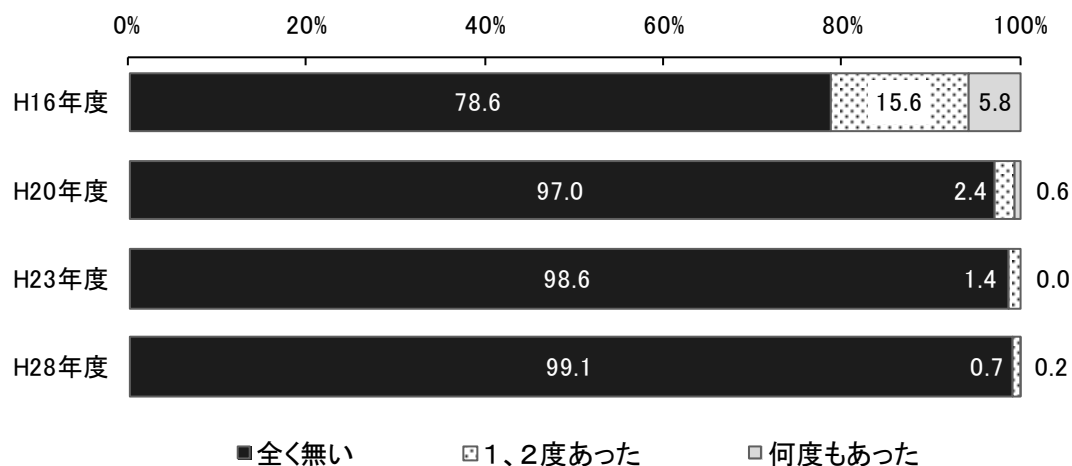
H28年度はH23年度と比べて、「老人クラブ活動」「子育て支援活動（グループ活動を含む）」「その他」を除いた6項目で低くなっています。



問 27 男性・女性に関わらず、おたずねします。あなたはこれまでに、配偶者や恋人などから次にあげるような行為を受けたことがありますか。(単数回答)

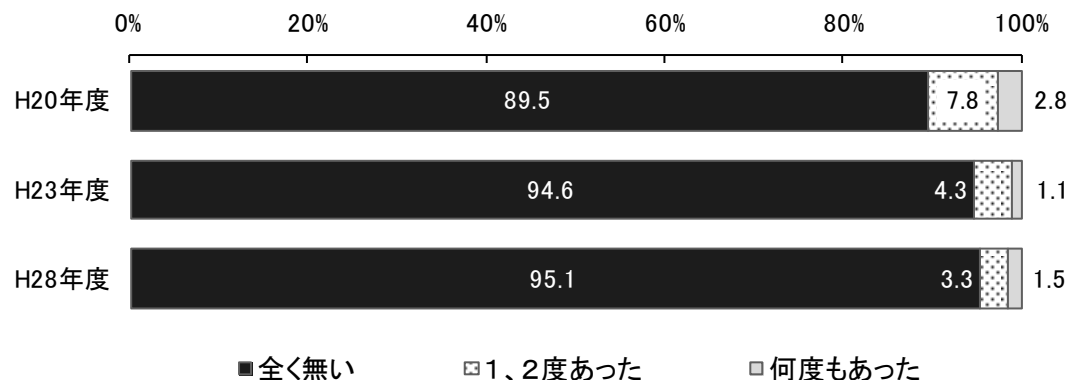
【A 医師の治療が必要となるくらいの暴行を受ける】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に0.0%となったものの、H28年度には0.2%と増加しています。



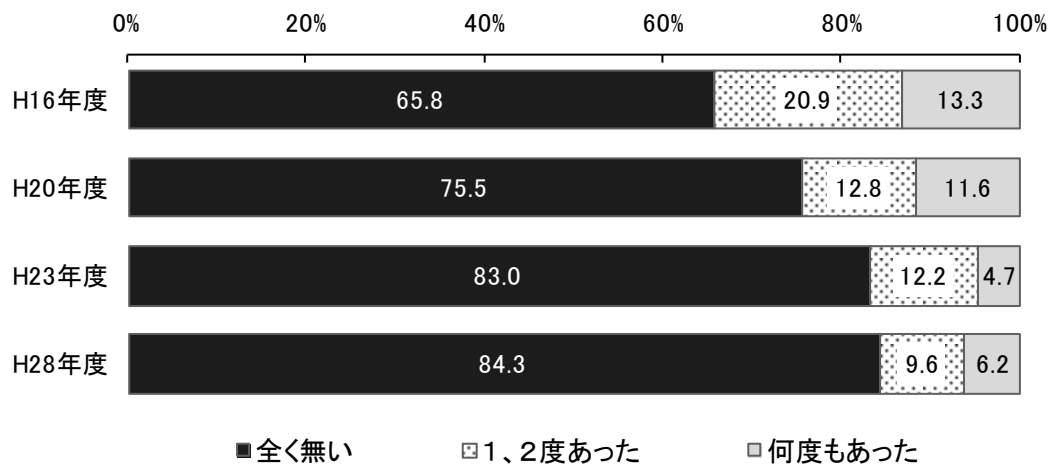
【B 医師の治療が必要とならない程度の暴力を受ける】

「1、2度あった」は、H20年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に1.1%となったものの、H28年度には1.5%と増加しています。



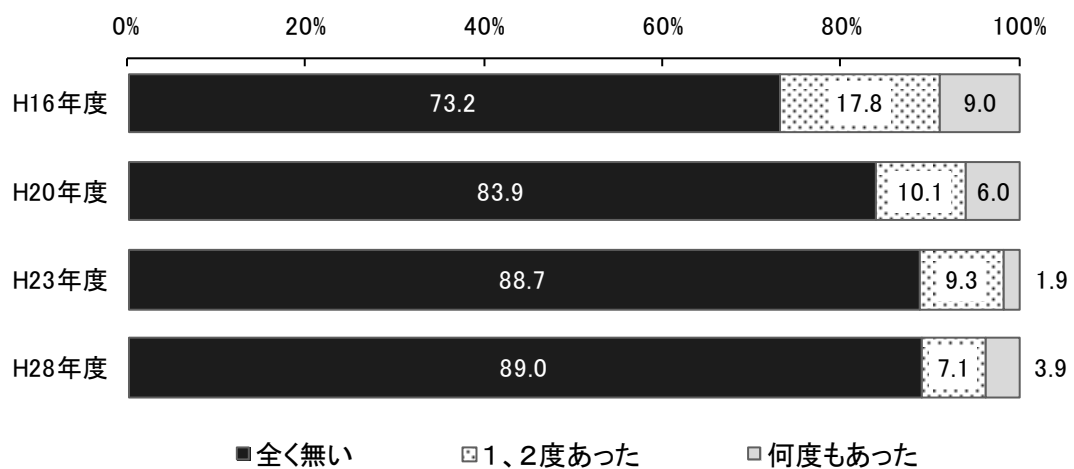
【C ののしる、おどす、大声でどなるなどの言葉による暴力を受ける】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に4.7%となったものの、H28年度には6.2%と増加しています。



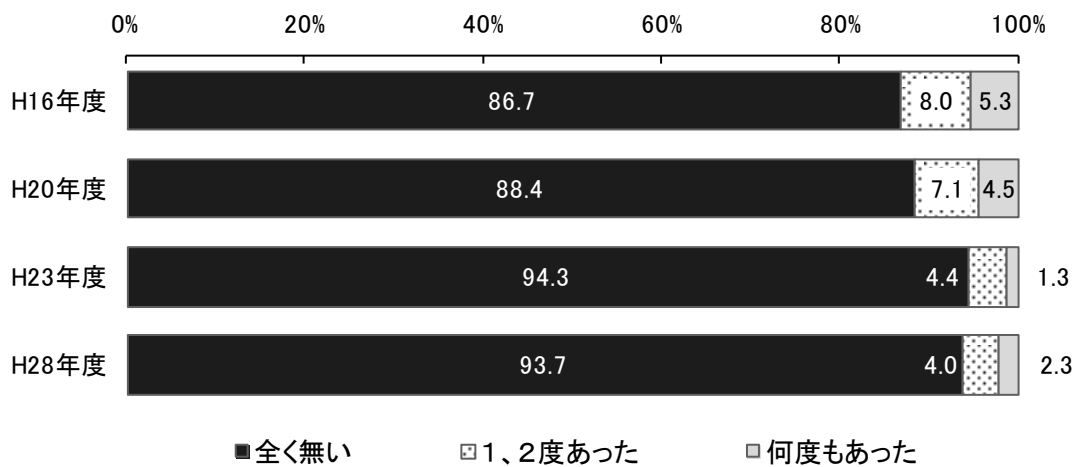
【D 何を言っても長時間無視し続けられる】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に1.9%となったものの、H28年度には3.9%と増加しています。



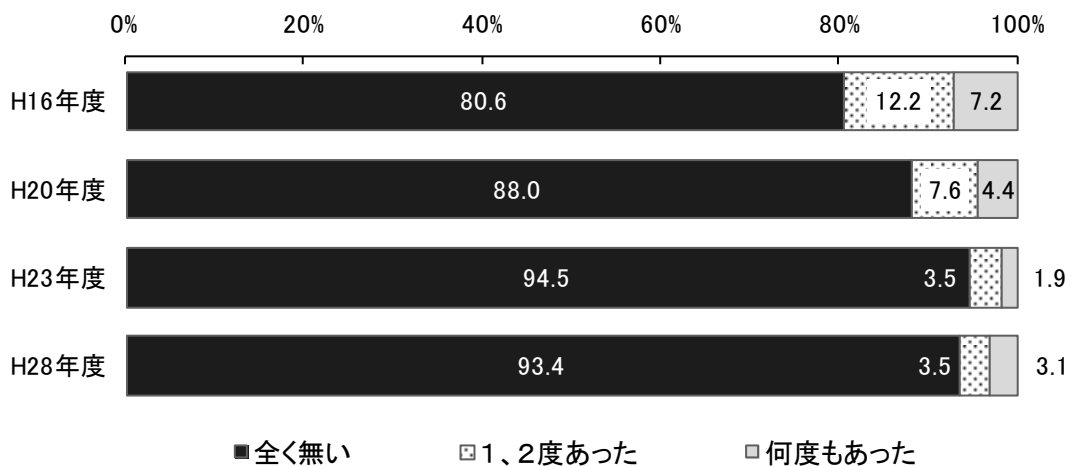
【E 交友関係や電話を細かく監視される】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に1.3%となったものの、H28年度には2.3%と増加しています。



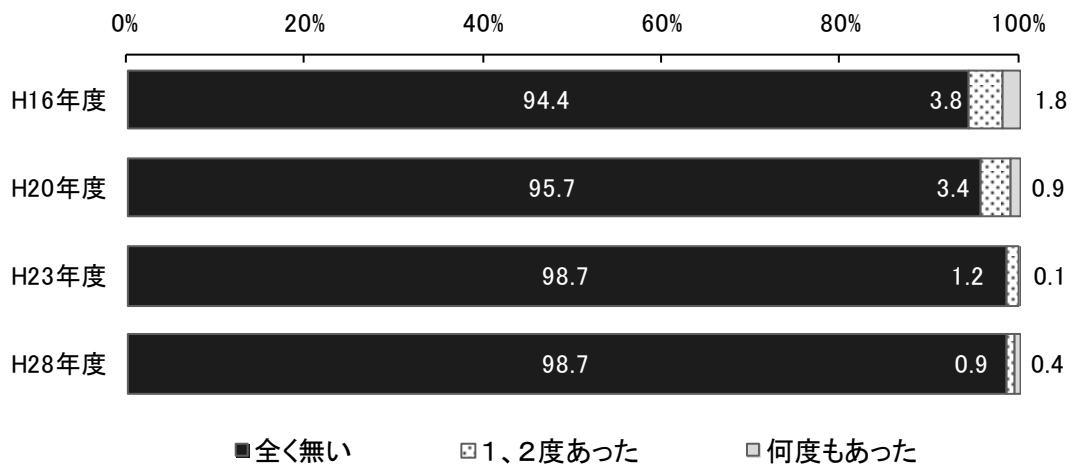
【F 嫌がっているのに性的な行為を強要される】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少、H28年度は横ばいとなっています。「何度もあった」はH23年度に1.9%となったものの、H28年度には3.1%と増加しています。



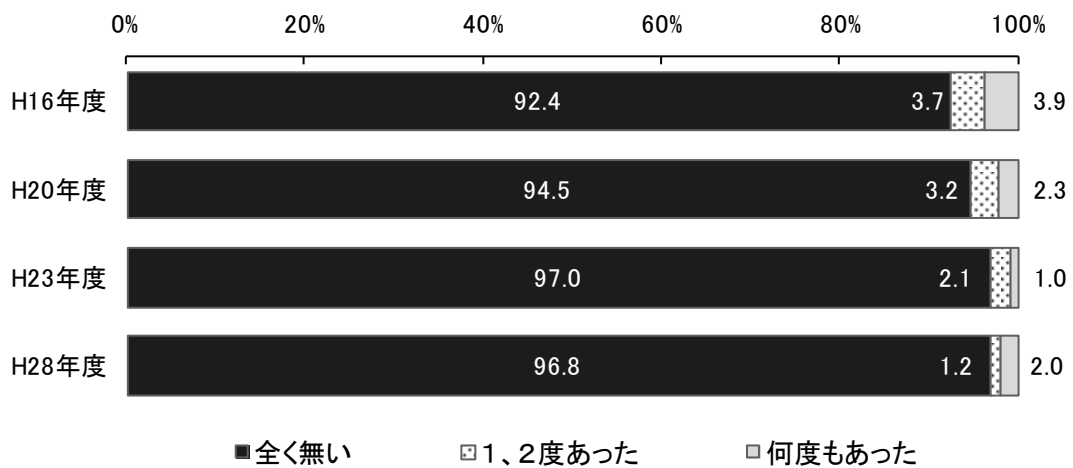
【G 見たくないのに、アダルトビデオなどを見せられる】

「1、2度あった」は、H16年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に0.1%となったものの、H28年度には0.4%と増加しています。



【H 生活費を渡されない】

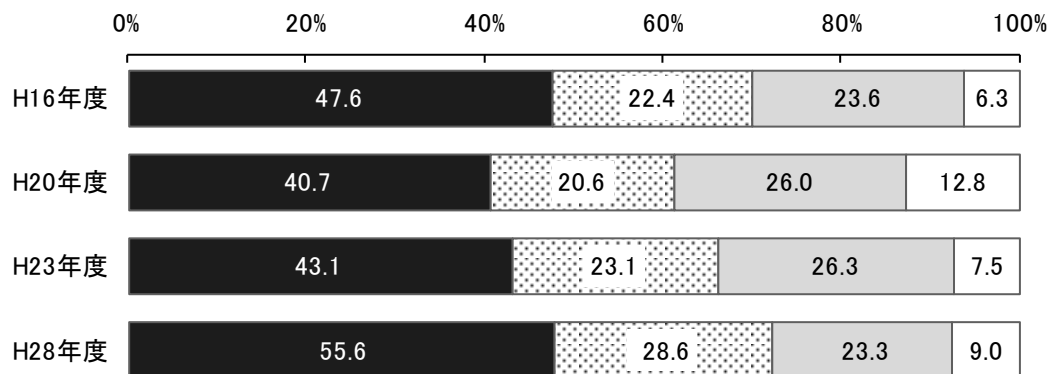
「1、2度あった」は、H20年度以降減少しています。「何度もあった」はH23年度に1.0%となったものの、H28年度には2.0%と増加しています。



【問 27 で「1、2 度あった」「何度もあった」に 1 つでも○をつけた方のみ】

問 27－1 そのような行為を受けた後、だれか（どこか）に打ち明けたり、相談したりしましたか。（複数回答）

「だれにも相談しなかった」は H28 年度に 55.6%と H20 年度以降増加しており、H23 年度と比べて 12.5 ポイント高くなっています。



■だれにも相談しなかった □親や親戚などの身内 □友人、知人 □その他

※上位 3 項目を除いた選択肢は「その他」として合計し、表示しています。

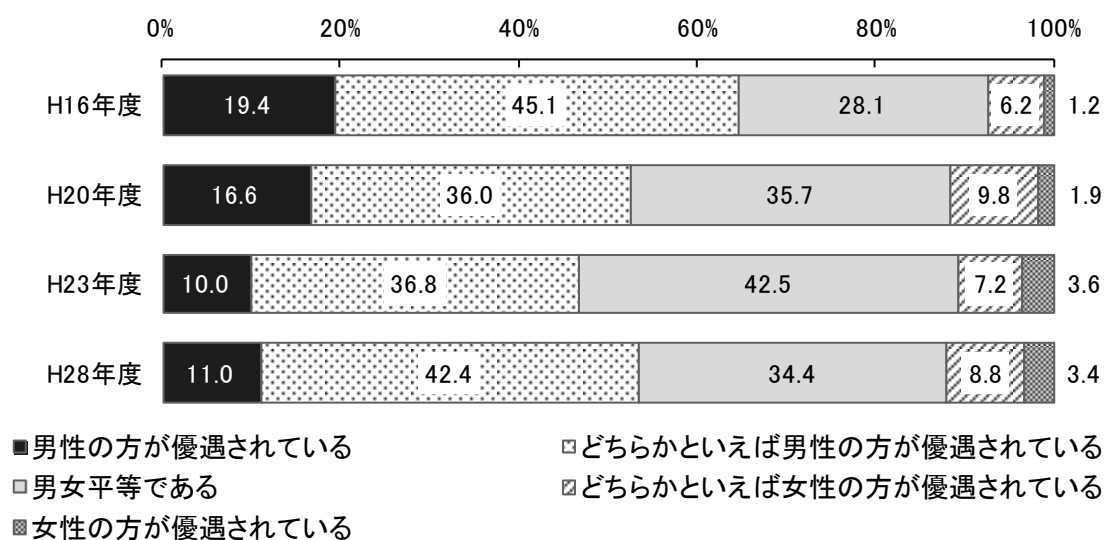
問 29 あなたは、次のような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。あなたの気持ちに最も近いものをお答えください。（単数回答）

問 29 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『男性優遇』…「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合算
『女性優遇』…「女性の方が優遇されている」と「どちらかといえば女性の方が優遇されている」を合算

【A 家庭生活で】

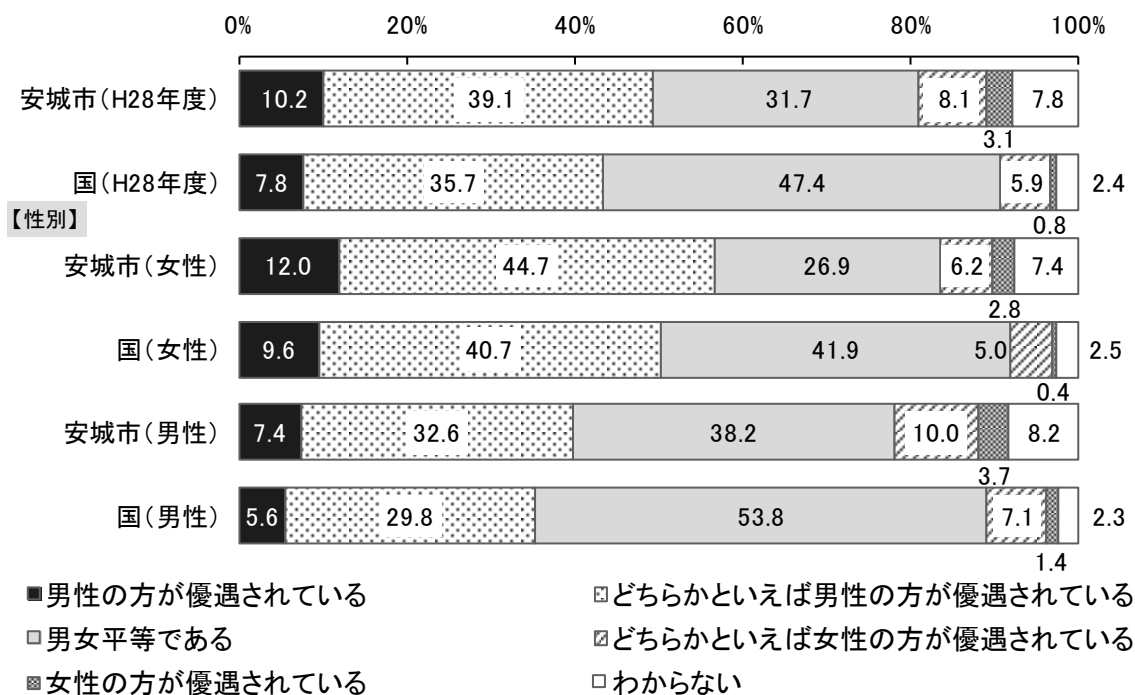
「男女平等である」は H20 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 34.4%と H23 年度と比べて 8.1 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 53.4%と H23 年度と比べて 6.6 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

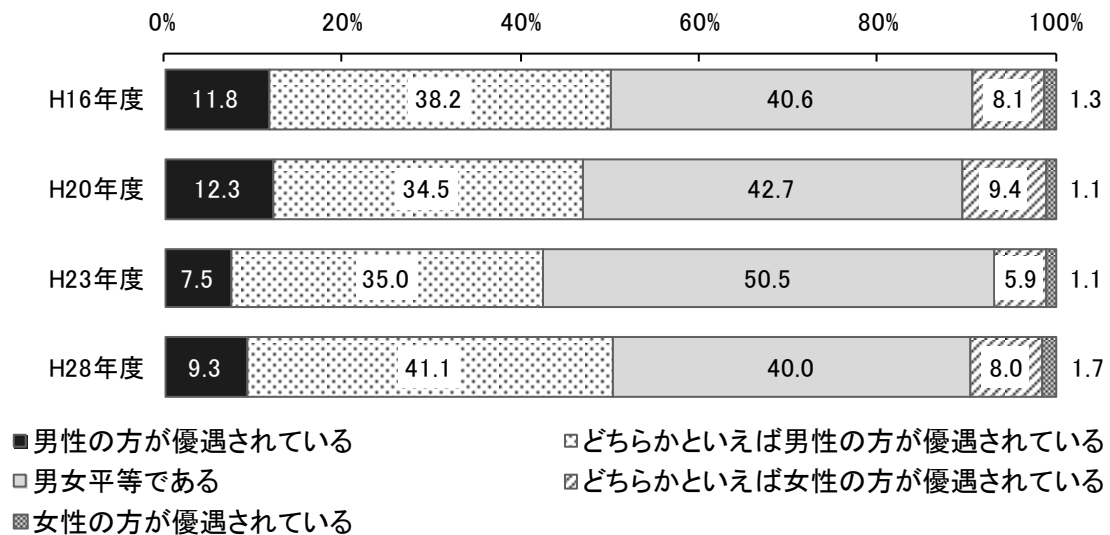
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体、男性、女性のいずれも 15.0 ポイント以上低くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【B 地域活動や地域社会で】

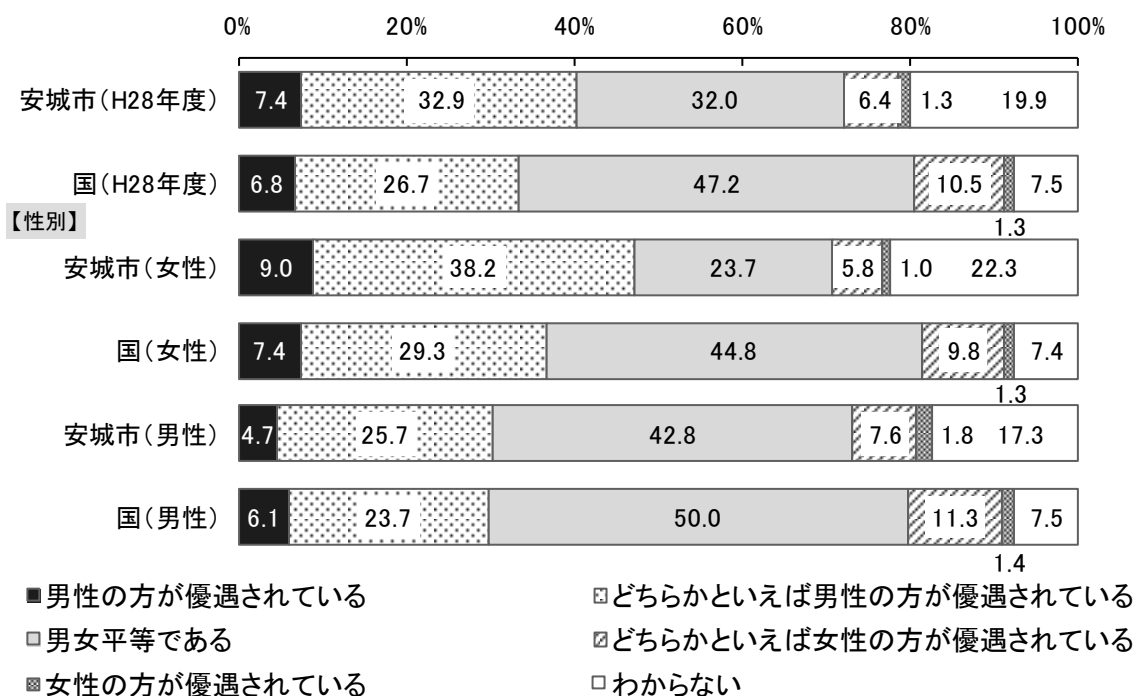
「男女平等である」は H16 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 40.0%と H23 年度と比べて 10.5 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 50.7%と H23 年度と比べて 8.2 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

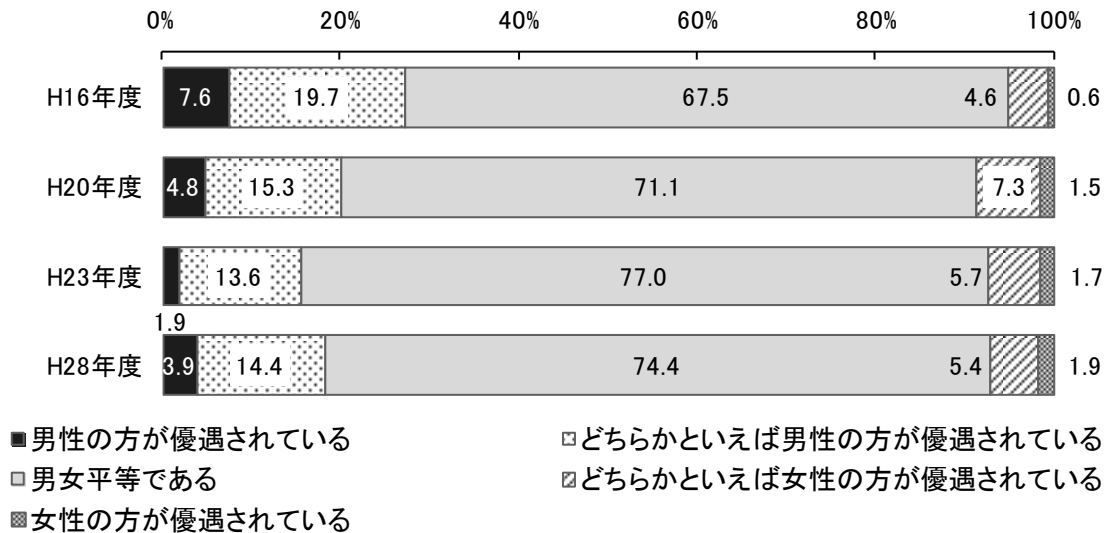
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 15.2 ポイント、女性で 21.1 ポイント、男性で 7.2 ポイント、それぞれ低くなっています。また、安城市の女性で『男性優遇』が国と比べて 10.5 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【C 学校教育の場で】

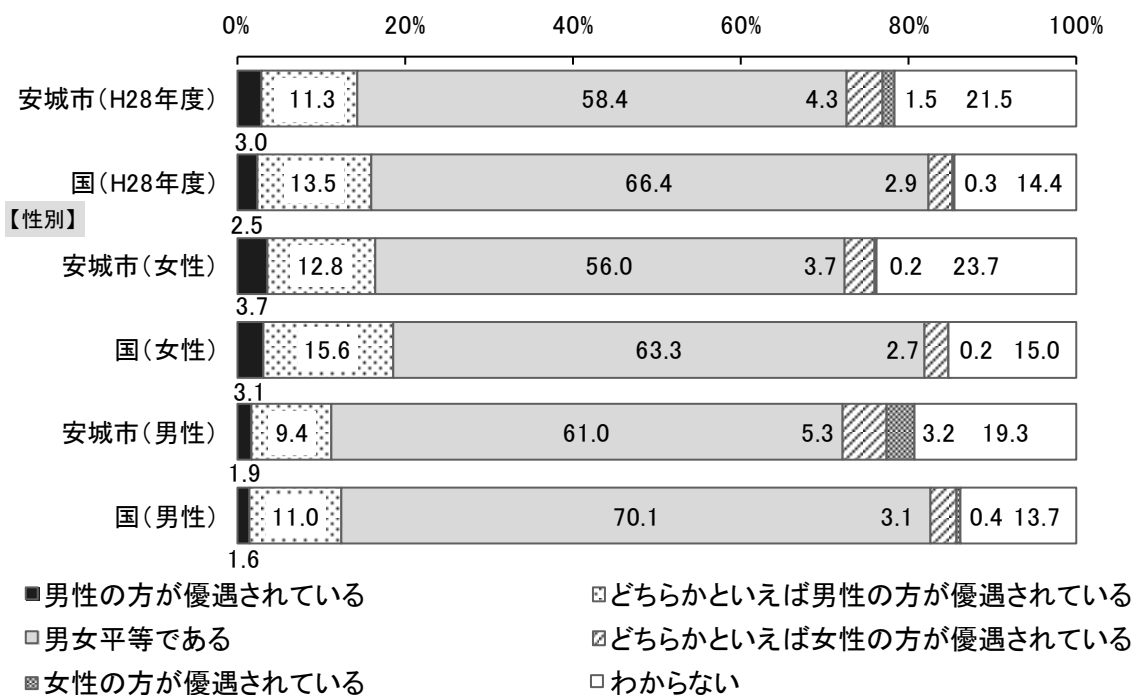
「男女平等である」は H16 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 74.4%と H23 年度と比べて 2.6 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 53.4%と H23 年度と比べて 2.8 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

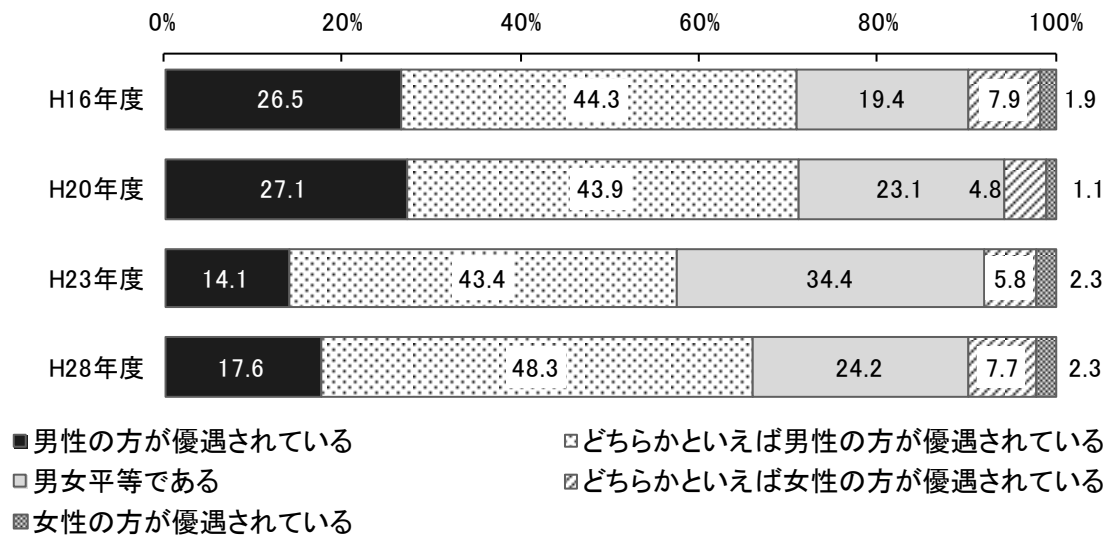
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 8.0 ポイント、女性で 7.3 ポイント、男性で 9.1 ポイント、それぞれ低くなっています。また、安城市の男性で『女性優遇』が国と比べて 5.0 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【D 職場で】

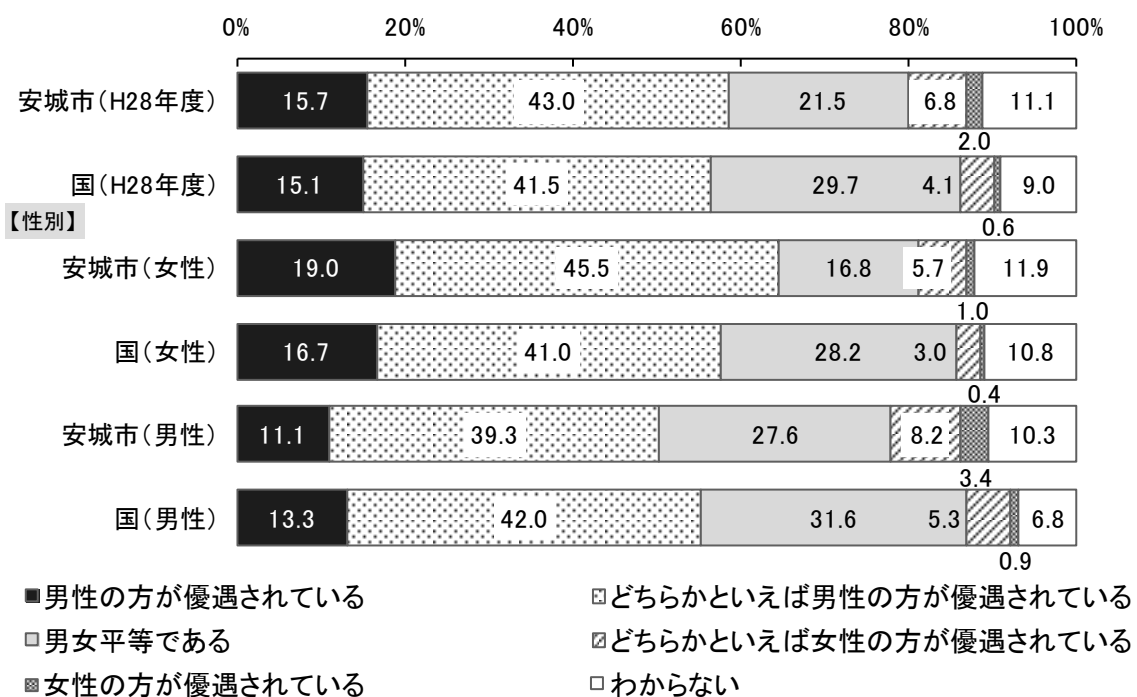
「男女平等である」は H16 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 24.2%と H23 年度と比べて 10.2 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H23 年度に減少したものの、H28 年度には 65.9%と H23 年度と比べて 8.4 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

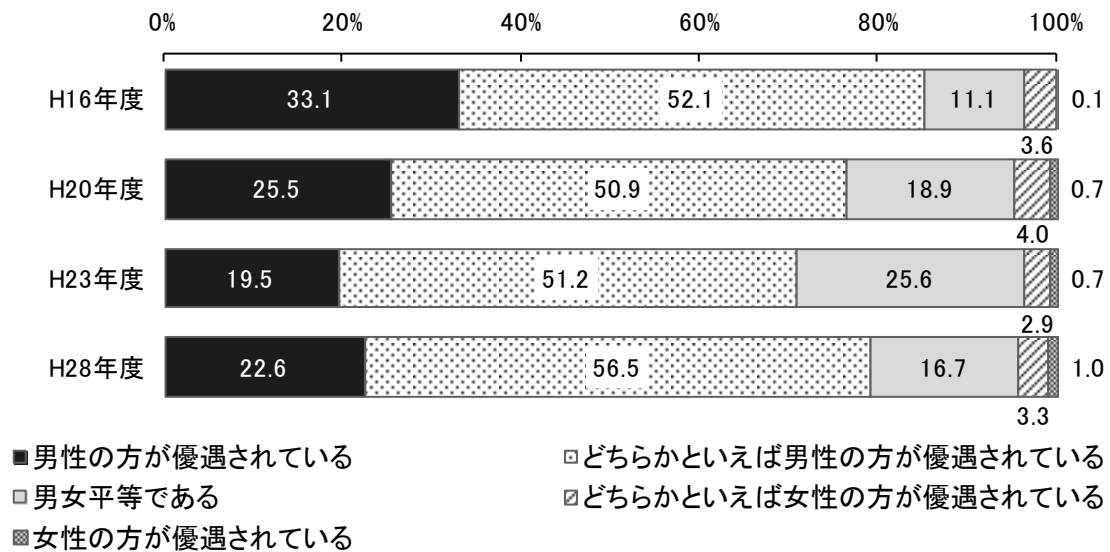
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 8.2 ポイント、女性で 11.4 ポイント、男性で 4.0 ポイント、それぞれ低くなっています。また、安城市の女性で『男性優遇』が国と比べて 6.8 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【E 社会通念・慣習・しきたりなどで】

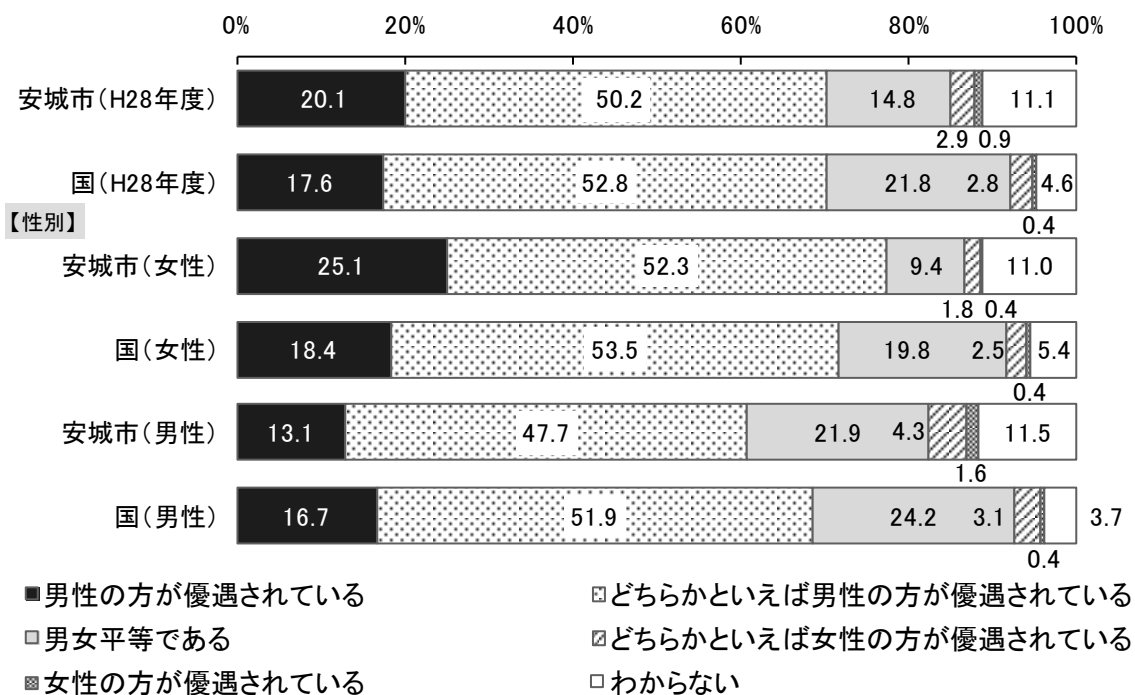
「男女平等である」は H20 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 16.7%と H23 年度と比べて 8.9 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 79.1%と H23 年度と比べて 8.4 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

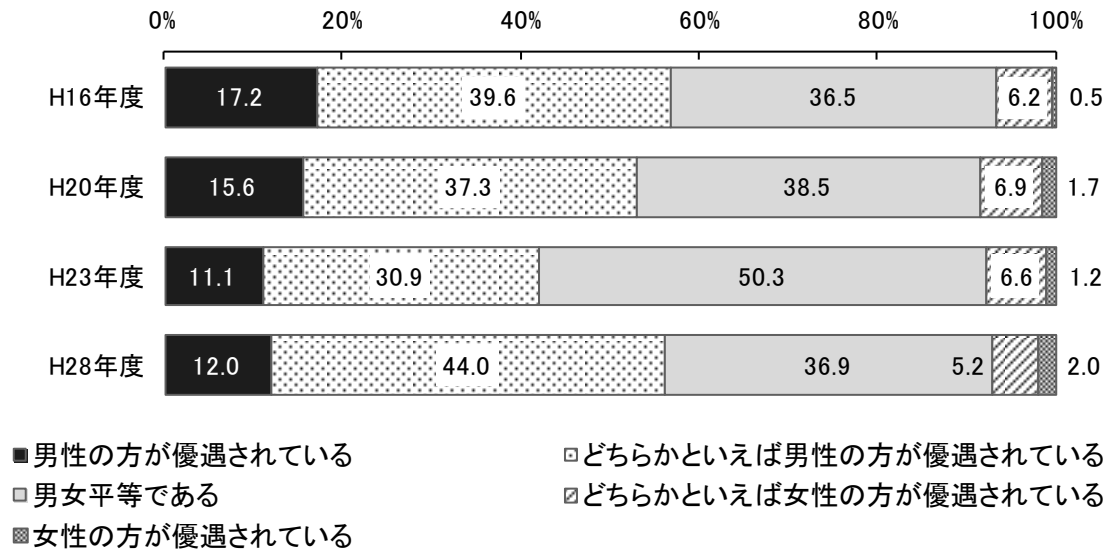
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 7.0 ポイント、女性で 10.4 ポイント、男性で 2.3 ポイント、それぞれ低くなっています。また、安城市の女性で『男性優遇』が国と比べて 5.5 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【F 法律や制度の上で】

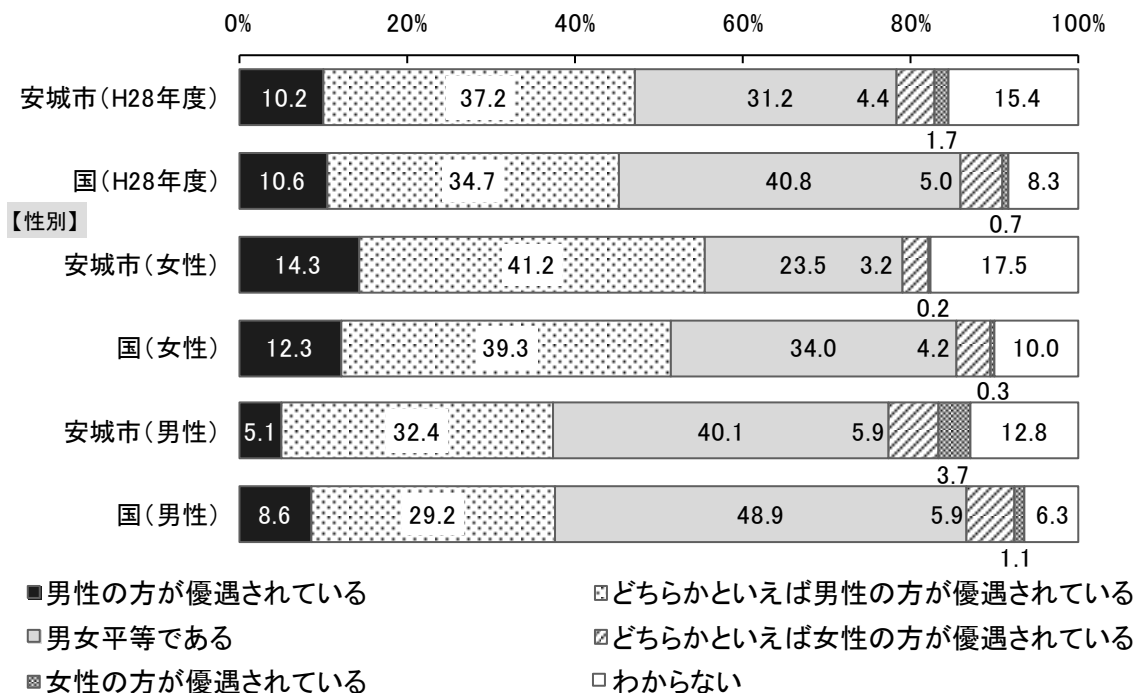
「男女平等である」は H16 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 36.9%と H23 年度と比べて 13.4 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 56.0%と H23 年度と比べて 14.0 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

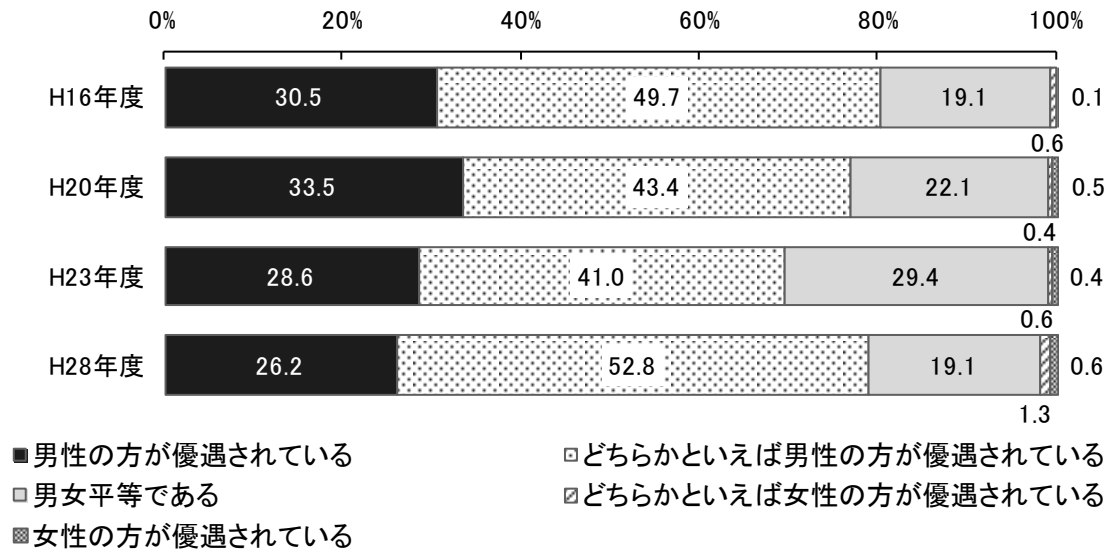
「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 9.6 ポイント、女性で 10.5 ポイント、男性で 8.8 ポイント、それぞれ低くなっています。また、安城市の女性で『男性優遇』が国と比べて 3.9 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

【G 政治の場で】

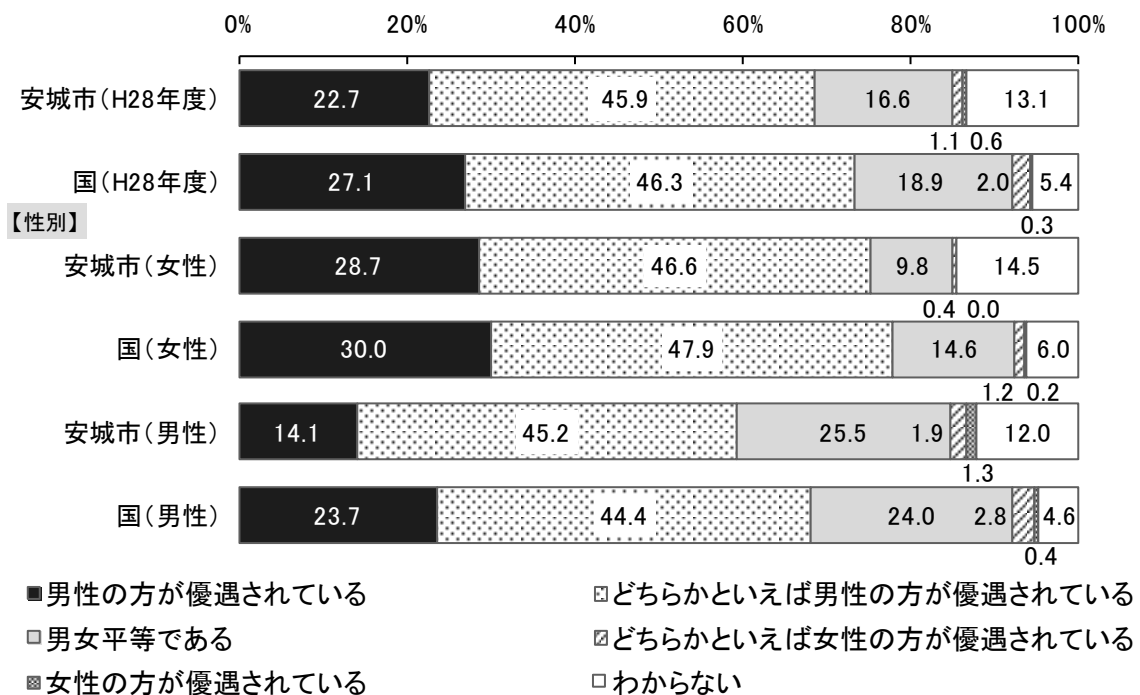
「男女平等である」は H20 年度以降増加傾向にあったものの、H28 年度には 19.1%と H23 年度と比べて 10.3 ポイント低くなっています。一方、『男性優遇』は H16 年度以降減少傾向にあったものの、H28 年度には 79.0%と H23 年度と比べて 9.4 ポイント高くなっています。



※同様の比較を行うため、H20 年度、H23 年度及び H28 年度の「わからない」は、母数から除外して再計算しています。このため、次の「国の比較」の「安城市（H28 年度）」のデータとは異なります。

国との比較

「男女平等である」は、安城市は国と比べて全体で 2.3 ポイント、女性で 4.8 ポイントそれぞれ低く、男性で 1.5 ポイント高くなっています。



国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

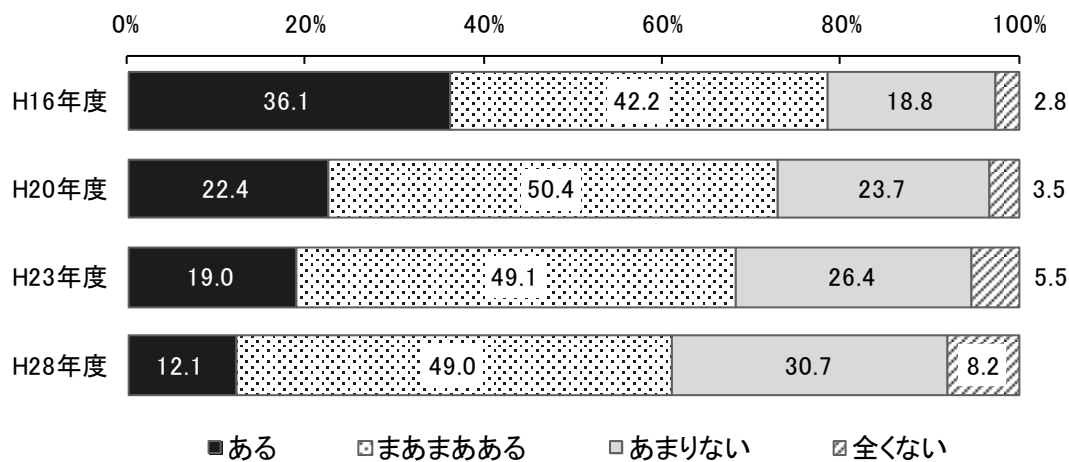
問 30 あなたは、社会問題や市政について関心がありますか。(単数回答)

問 30 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『ある』…「ある」と「まあまあある」を合算

『ない』…「全くない」と「あまりない」を合算

『ある』は H16 年度以降減少傾向にあり、特に「ある」は H28 年度には 12.1%と H16 年度と比べて約 3 分の 1 となっています。反面、『ない』は H16 年度以降増加傾向にあり、特に「全くない」は H28 年度には 8.2%と H16 年度と比べて約 3 倍となっています。



※H16 年度の「ふつう」は、母数から除外しています。

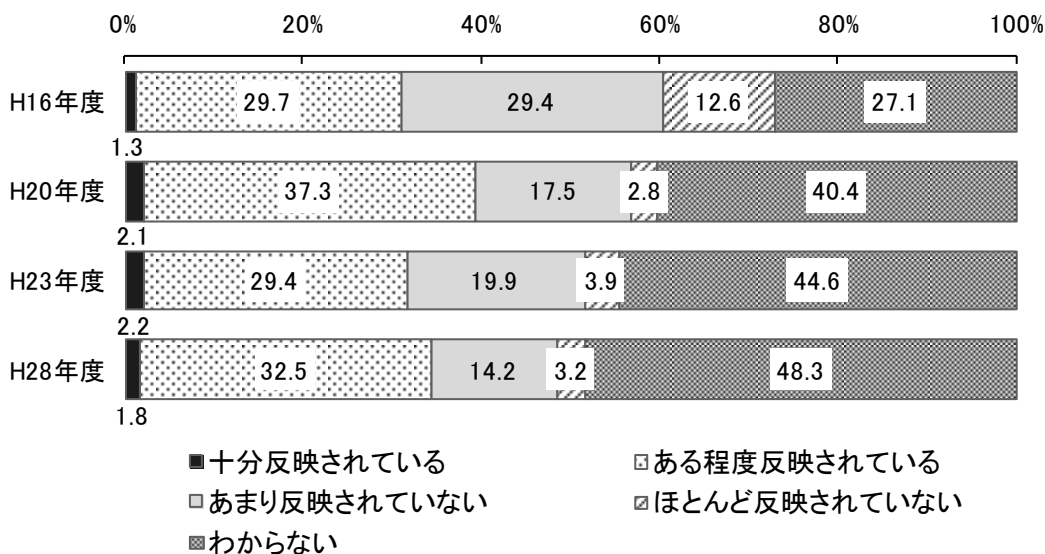
問 31 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていると思いますか。(単数回答)

問 31 の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『反映されている』…「十分反映されている」と「ある程度反映されている」を合算

『反映されていない』…「ほとんど反映されていない」と「あまり反映されていない」を合算

『反映されている』『反映されていない』は H16 年度以降増減を繰り返している一方で、「わからない」は増加傾向にあります。

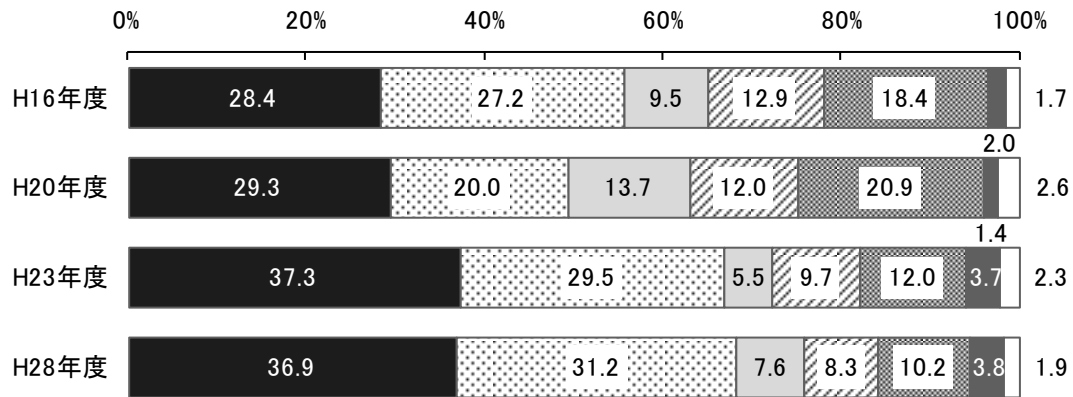


※H16 年度の「全く反映されていない」、H23 年度の「ふつう」、H28 年度の「その他」は、母数から除外しています。

【問 31 で「あまり反映されていない」または「ほとんど反映されていない」と答えた方のみ】

問 31－1 市の施策に女性の意見や考え方が反映されていないと思われる理由は何ですか。（単数回答）

H23 年度以降、「女性自身の関心や意識が薄いから」は減少し、「市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから」「女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから」が増加傾向にあります。

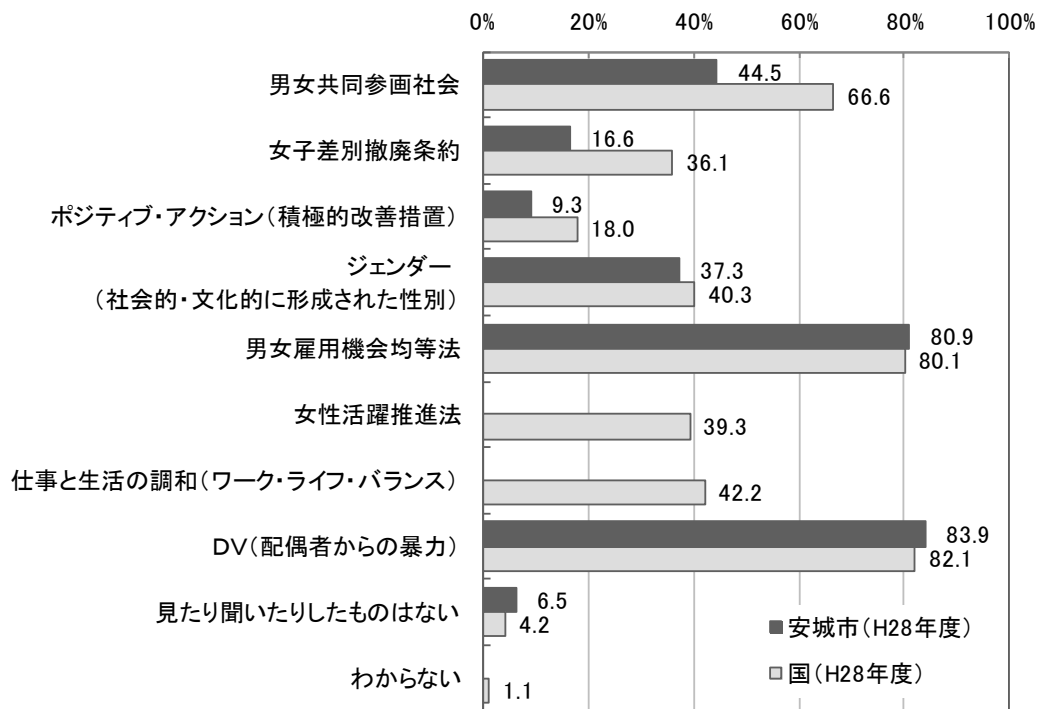


- 市議会や行政などの政策方針決定の場に女性が少ないから
- ▣女性の意見や考え方に対して、行政側の関心が薄いから
- 女性からの働きかけが十分でないから
- ▤女性の意見や考え方が期待されていないから
- ▨女性自身の関心や意識が薄いから
- わからない
- その他

問 33 次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものを教えてください。(複数回答)

国との比較

国との比較で差が大きい項目は、「男女共同参画社会」が 22.1 ポイント、次いで、「女子差別撤廃条約」が 19.5 ポイント、それぞれ低くなっています。



※「女性活躍推進法」「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」及び「わからない」は、国のみの選択肢です。
 ※安城市(H28年度)は、「不明・無回答」を除いた結果です。

国の資料：男女共同参画社会に関する世論調査報告書（平成 28 年 9 月調査）

平成 28 年度
安城市男女共同参画に関するアンケート調査
【調査結果報告書】
— 経年比較及び国比較 —

平成 28 年 11 月発行

発行 安城市 市民生活部 市民協働課

〒446-8501
安城市桜町 1 8 番 2 3 号
TEL : 0566(71)2218
FAX : 0566(72)3741